

## 令和5年度 事業報告

65歳までの継続雇用の定着や70歳までの就業機会確保等の努力義務化から3年が経過し、これまで事業活動や日常生活に影響を及ぼしていた新型コロナウイルス感染症が5月初旬に5類感染症へ移行となり、コロナ禍以前の生活様式に戻ってきており、会員拡充や事業拡大に期待値も急上昇するところであった。

しかし、経済状況では、大企業が高水準の賃上げを実施する一方で、中小企業が追随できていない現状であり、また、賃上げの上昇が輸入価格の上昇を起点とする物価上昇に追い付かず、個人消費や設備投資は力強さに欠いていると内閣府発行の2023年度版日本経済レポートで報じられ、新たな課題が突き付けられており、シルバー事業にとっては、引き続き厳しい経済環境下での事業運営が強いられているところである。

そのような中ではあるが、事業実績においては、請負契約金額は前年度比6.5%増の535,024千円、シルバー派遣契約金額は前年度比11.4%増の56,560千円、両方の合計金額は591,584千円、前年度対比6.9%増となり、6億円の台も視野に近づく過去最高の実績となりました。

会員数では、入会者数を上回る退会者数であったことから前年度対比0.1%減となった。

さて、令和5年度は第3次経営改革5か年計画の2年目であるが、事務費率の引上げ、最低賃金額に配慮した配分金単価の引上げにより目標契約金額の数値は達成しているが、社会環境変化の前に設定された数値目標であることから評価できるものとはなっていない。

引き続き、会員の増強及び事業実績向上に向け、会員の皆様のご協力を始め関係機関の皆様のご理解をいただき、事業を推進し、地域社会への更なる貢献を目指す。

### 【事業実施計画に基づく取組について】

#### (1) インボイス制度に向けた対策の推進

- ① インボイス制度対応の特定費用準備資金の積立を本年度から行った。
- ② インボイス制度が年度の後半から施行され、シルバーだよりNo.116号において再度周知を図った。

#### (2) 会員の増強に向けた取組強化

- ① ハローワーク岡崎及び岡崎市雇用対策協議会共催によるシニアのための就職支援フェアにブースを設け、シルバー人材センターの紹介を積極的に行うとともに、ハローワークと連携し、ハローワーク職員にシルバー人材センターの業務の理解を図った。

- ② 事業開拓委員会による地域における会員募集のポスティング活動を大型ショッピングセンターにおいて実施するなど年間 5,000 枚以上のチラシの配布を行った。
- ③ 会員によるお友達紹介キャンペーンを実施し、15 名の入会に繋がった。
- ④ 市役所東庁舎 1 階市民サービス窓口来客者向けにシルバー人材センター PR 画像を大型モニター 3 台から放映し、周知を図った。

(3) 事業実績向上に向けた取組強化

事業実績向上を目指すベースとして、年齢構成面で厳しい状況にある事務局体制の強化を図るため、社会人経験者の応募も可能とするため、職員の処遇改善のための賃金規程の改正を図り、特に業務系の構成の改善を図るための職員採用を行ったことから、次年度から体制強化が図られるよう人材育成に更に注力していく。

(4) 安全就業の徹底と感染症予防の取組強化

- ① 自転車使用の会員向けにヘルメット着用ポスターを作成し、周知を図った。
- ② 派遣事業において衛生委員会による派遣先パトロールを 4 回実施し、就業環境等の評価を実施し、現場へフィードバックを行った。

(賠償事故：1 件)

	発生日	発生場所	年齢(性別)	事故内容等
1	05.05.31	才栗町 ※チーム作業	81 歳(男)	墓地にあるお墓の周辺を刈払機(カルマー)で草刈りを実施し、後日、墓参りに来られた所有者が墓石に傷が付いている旨の申し出があり、損害金 330,000 円で示談が成立した。

(傷害事故：8 件)

	発生日	発生場所	年齢(性別)	事故内容等
1	05.05.20	伝馬通	85 歳(男)	軽トラックで現場の下見に向かう途中の交差点を直進中に、右側から信号無視の軽乗用車が突っ込み、左肩、両下肢、腰部の挫傷を負った。
2	05.11.24	恵田町	80 歳(男)	発注会社外周土手の除草業務中の移動の際、足を滑らせコンクリート上に尻もちをつき、尾てい骨周辺の打撲傷を負った。
3	05.11.27	岩津町	69 歳(男)	発注者宅で樹木剪定中、脚立に登り枝を切断し下ろそうとした際、想定以上の重量でバランスを崩し、脚立の 4 段目から飛び降り、右足踵を骨折した。

4	05. 11. 27	矢作町	67 歳(男)	緑地整備業務の休憩後、作業場所に向かう途中の通路で段差を踏み外し、よろけたはずみで転倒し左足腓骨を骨折した。
5	05. 12. 23	片寄町	81 歳(男)	竹林でチェーンソーを使用して竹の伐採中、左足を乗せていた古い竹が折れてバランスを崩し、チェーンソーの刃が左足太腿に接触し6針縫合の裂傷を負った。
6	06. 01. 22	合歓木町	66 歳(男)	柿の木の剪定作業で脚立に登る際、掴んでいた枝が折れてバランスを崩し、3段目から落下し、左足首を骨折した。
7	06. 01. 31	福岡町	71 歳(男)	公共樹調査で現場付近に車を止めて降りる際、道路土手の斜面に足を取られ2m滑り落ち側溝に転落し、肋骨骨折及び頭部2針縫合の裂傷を負った。
8	06. 02. 16	中町	83 歳(男)	廃棄物置場のゴミ持ち去り監視業務を終え徒歩にて帰宅途中足を滑らせ転倒し、第一腰椎圧迫骨折及び左膝挫傷を負った。

#### (5) 第3次経営改革5か年計画の推進

60歳代から74歳以下の年齢層の人口が減少する中、シルバー会員数もここ数年は微増となっていたが、本年度は最終的に微減となり、7%近く目標値を下回る結果となった。

しかし、目標契約金額では、事務費の引上げ及び受注積算単価の引上げにより、受注件数は減少するものの、実績金額では、102.7%と目標達成となった。

今後の課題への対応に関しては、法制度の改正に対応した事務の見直しの中で契約方法の見直しが厚生労働省から提案されており、全容の理解に取り組み、次年度において具体的な方針を定めることとした。

#### (6) その他

- ① 愛知県シルバー人材センター連合会と協力し、「家事援助」・「庭木剪定」の技能講習講座を開催し、会員入会促進を図った。
- ② ホームページを8月から刷新し、スマートフォンからも見やすいものに更新した。
- ③ フリーランス新法の施行に向け、スマートフォンを活用した情報提供のツールを利用した就業条件の明示等、今後義務化される手続のデジタル対応に向けた準備を計画的に推進した。